

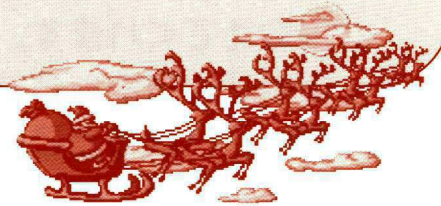


としょかん探偵事務所



さて、今回の依頼は…「トナカイの名前は？」

詩をもとにした絵本に載っていたと思うのですが、サンタクロースのそりを引いているトナカイの名前は何かというのでしょうか。



《回答》

まず、『サンタクロースとクリスマス』という本を調べてみると、サンタクロースが現代のイメージとなったきっかけが登場します。「この人物が生まれたのは19世紀初めのころ、クレメント・クラーク・ムーアというアメリカの神学教授がクリスマスの少し前に、自分の子供たちのために書いた詩のなかである。」その「クリスマスイブのできごと」（絵本では『クリスマスのまえのばん』）という詩の中では、「いたずらっぽく 目が光り バラ色のほおに えくぼが二つ はなは ぷっくり サクランボのよう わらいだし そうな口、まっ白なひげ。しきりにふかす パイプから ほそいけおりが 輪をつくる。」「まあいい顔を、くしゃくしゃにして わらうたんびに ぷるんぷるん つき出たおなかが よくうごく・・・」など、サンタクロースは、ゆかいで小さな太っちょおじいさんとして描かれています。

また、同じ詩の中で、サンタクロースが8頭のトナカイたちに呼びかけています。「いそげ ダツシャー、いけ ダンサー、さあ プランサー、それ ビクスン、とばせ コメット、キューピッド、いいぞ ダンダー、ブリッツェン。かべをつたって やねへでろ。がんばれ いっきに かけあがれ！」トナカイにも名前があったんですね。

ここで気がつきましたが、クリスマスソングで有名な「赤鼻のトナカイ」が出てこないのです。「ルドルフ（赤鼻のトナカイ）が誕生したのは一九三九年、シカゴのデパート「モンゴメリー・ウォード」の宣伝用小冊子に、専属コピーライターのR・L・メイが、サンタのそりを引く九頭目のトナカイの詩を書いたのが最初でした。」「四九年にはメイの義理の兄弟J・D・マークスの作詞作曲でテーマソングも作られ、レコードが発売されるとこれも大当たり。」（ともに『クリスマスおもしろ事典』）ムーアの詩の後に誕生したから出てこなかったのですね。ルドルフは、そりの先導役でもある9頭目のトナカイとして仲間に加わったのです。

《引用、参考文献》

- ・『サンタクロースとクリスマス』C.ルパニョール 東京書籍
所蔵館：大宮・大宮西部・与野(資料番号03045886)
- ・『クリスマスのまえのばん』クレメント・ムーア 偕成社
(資料番号00131582ほか)
- ・『クリスマスおもしろ事典』クリスマスおもしろ事典刊行委員会編
日本キリスト教団出版局 所蔵館：馬宮・宮原・与野南分館ほか
(資料番号51055864)

★レファレンスサービス★

図書館では、ちょっとした疑問や、調べ方のコツなど、さまざまな質問について、皆様が回答を得られるよう、図書館の資料を使ってお手伝いをしています。ぜひ、ご利用ください。